

PassLogic Enterprise Edition

Windows IE,Edge の

PKI 仕様変更に対応するパッチ(t1149)

設定とログイン操作に関する参考資料



商標および免責事項

PassLogic およびパスロジは、パスロジ株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品は医療機器、原子力施設、航空関連機器、軍備機器、輸送設備やその他人命に直接関わる施設や設備など、高い安全性が要求される用途での使用は意図されていません。該当する施設や設備には使用しないでください。

著作権/注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製転載することを禁じます。

本書に掲載の内容及び製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1 変更点の概要	3
2 ブラウザの設定	4
2.1 はじめに.....	4
2.2 Internet Explorer11 の設定例.....	4
証明書の提出ウィンドウがブラウザの背面にポップアップする場合	6
2.3 Internet Explorer11 のログイン操作例.....	7
クライアント証明書の提出画面で自動的に処理が終わらない場合	10
2.4 免責.....	11

1 変更点の概要

Windows の仕様変更に伴い、クライアント証明書の提出方法（画面と操作手順）が変更されます。

■ 旧方式

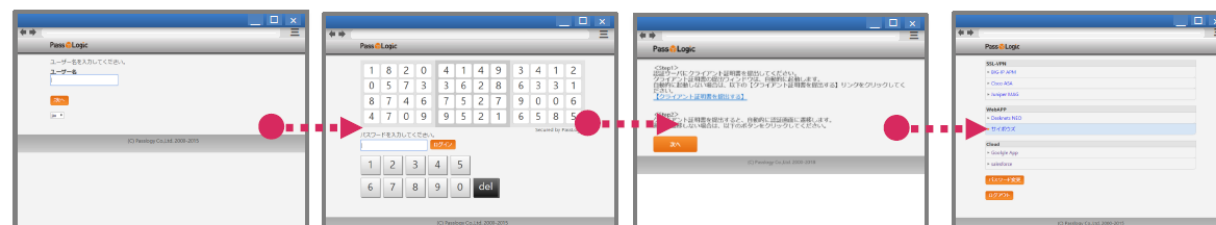
- ① ユーザIDを入力 ② パスワードを入力 ③ 証明書を提出 ④ ログイン完了



※ Entv-3.1.0の場合、SP1（パッチサービスパック）が当たっている場合は、②と③の順序が逆になります。

■ 新方式

- ① ユーザIDを入力 ② パスワードを入力 ③ 証明書を提出 ④ ログイン完了



※ Entv-3.1.0の場合、SP1（パッチサービスパック）が当たっている場合は、②と③の順序が逆になります。

新方式の「③証明書を提出」の大まかな処理の流れは下記の通りです。

- ① ユーザIDを入力し次へをクリック

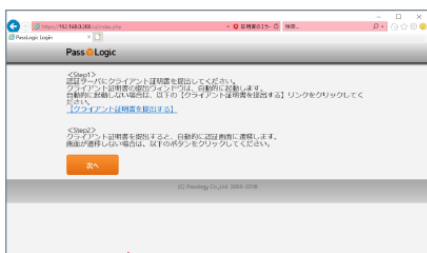


- ② パスワード入力



※ Entv-3.1.0の場合、SP1（パッチサービスパック）が当たっている場合は、②と③～④の処理セットの順番が逆になります。

- ③ 証明書提出の準備ページが表示



- ③-1
新規タブが自動で起動

- ③-2
証明書提出が終わるとタブ
が消去し③の画面に戻る

- ④ 証明書提出ページで証明書提出



証明書提出後、ログイン完了（アプリケーションメニュー）へ遷移

2 ブラウザの設定

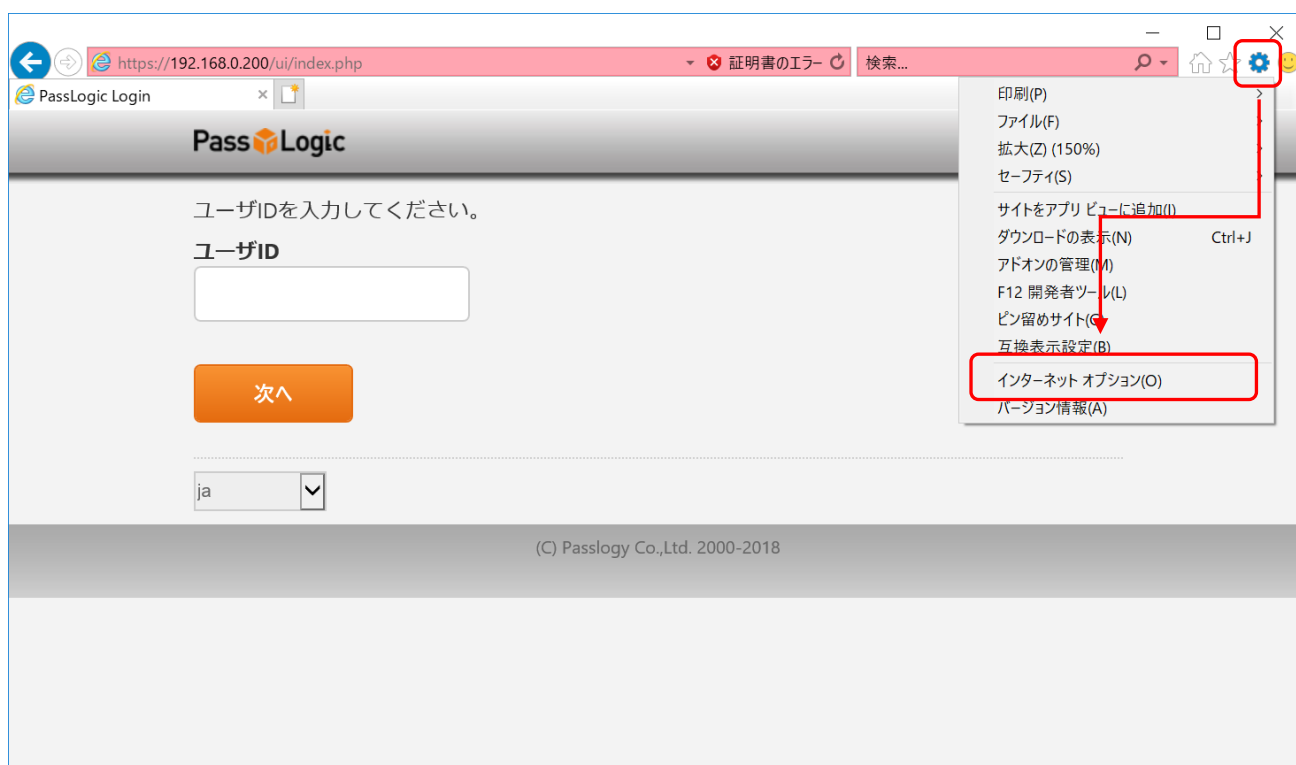
2.1 はじめに

本書は、Windows IE,Edge の PKI 仕様変更に対応するパッチ(t1149)を適用された場合の設定ご参考資料です。

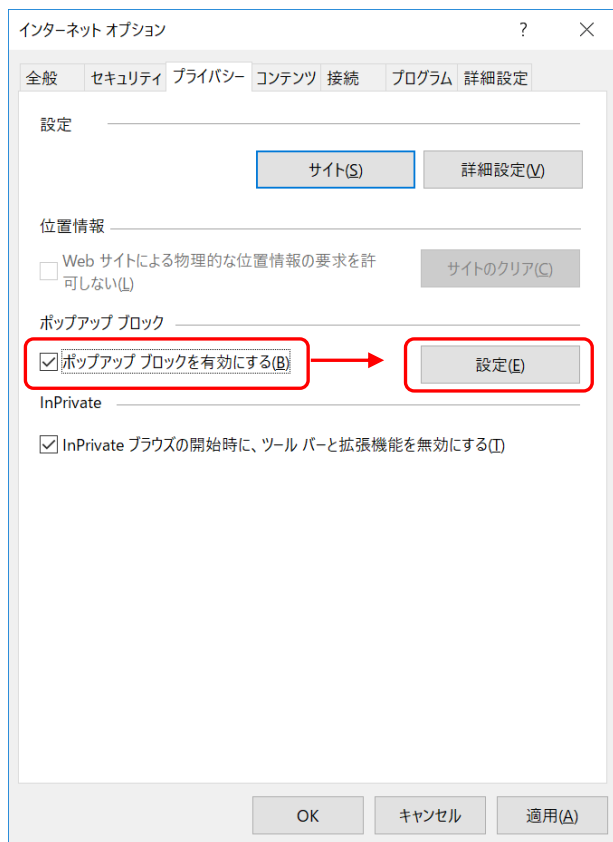
本パッチを適用した環境では、ブラウザ上でポップアップ表示が可能となるように設定していただく必要があります。Internet Explorer11(以下、IE11)の設定例をご紹介します。その他のブラウザをご利用の場合は、各ブラウザのヘルプ等に従い、ポップアップが有効となるように設定変更をお願いします。

2.2 Internet Explorer11 の設定例

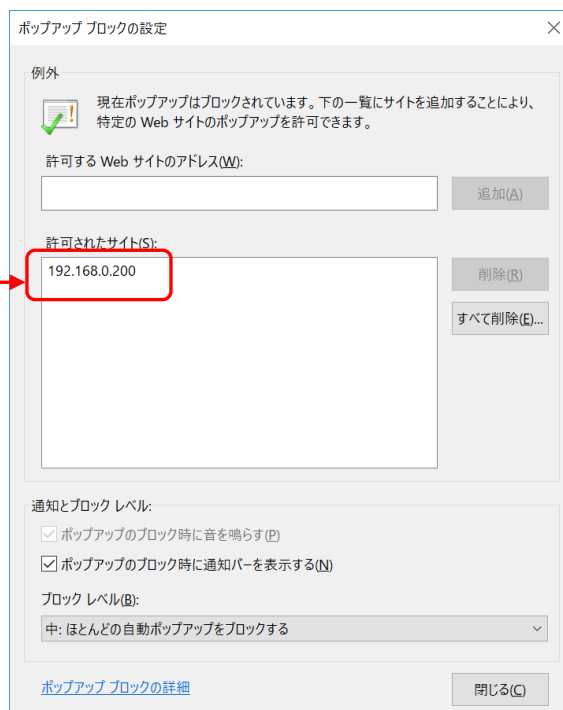
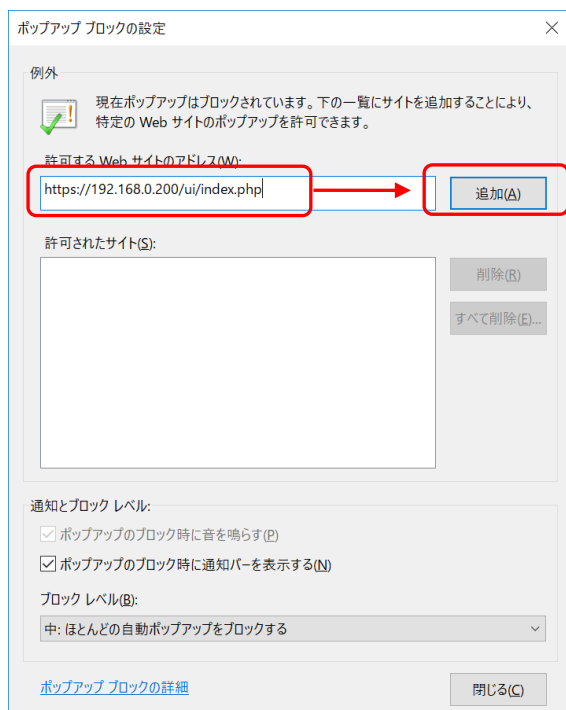
1) 設定アイコン(歯車マーク) から「インターネット オプション」を選択してください。



- 2) 「ポップアップブロックを有効にする」にチェックを入れ、「設定」を開いてください。
※ポップアップブロックが有効になっていない場合はそのままの設定で問題ありません。



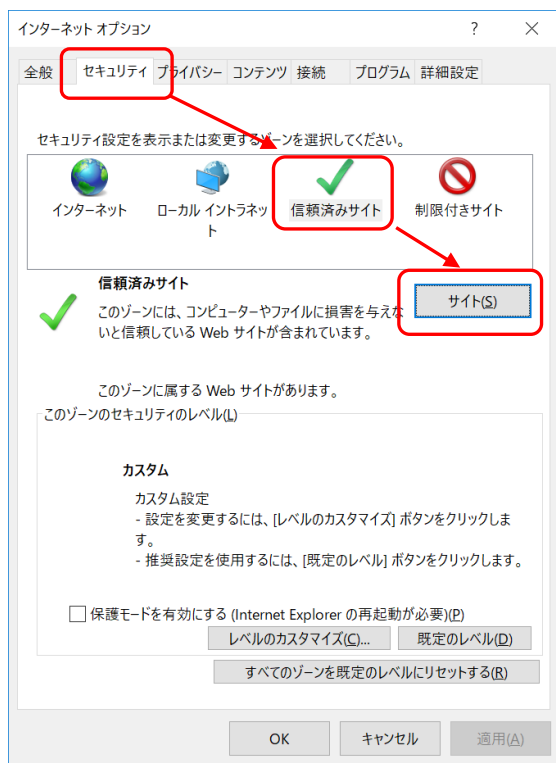
- 3) ポップアップ許可サイトとして PassLogic の URL を追加してください。



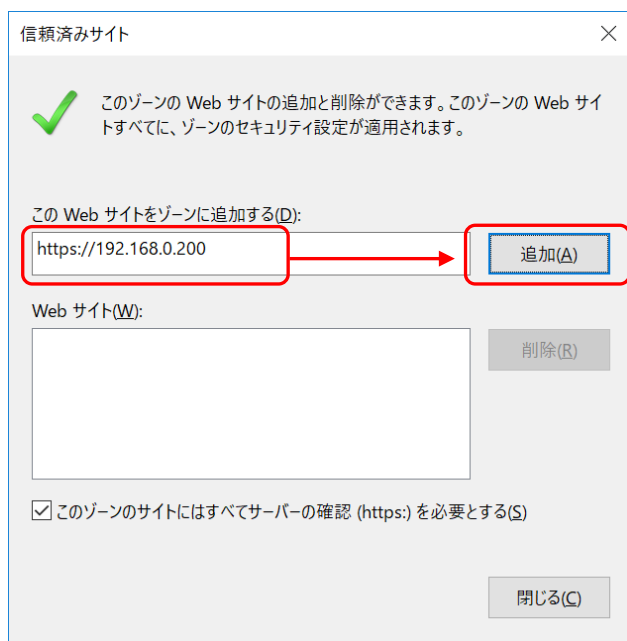
証明書の提出ウィンドウがブラウザの背面にポップアップする場合

IE で証明書が一つだけの場合、環境によっては新規タブの背面で証明書の提出要求のウィンドウが開かれる場合があります。その場合は「インターネットオプション」にて下記の設定を追加してください。

1) 「セキュリティ」タブ → 「信頼済みサイト」 → 「サイト」ボタンを順番にクリックしてください。

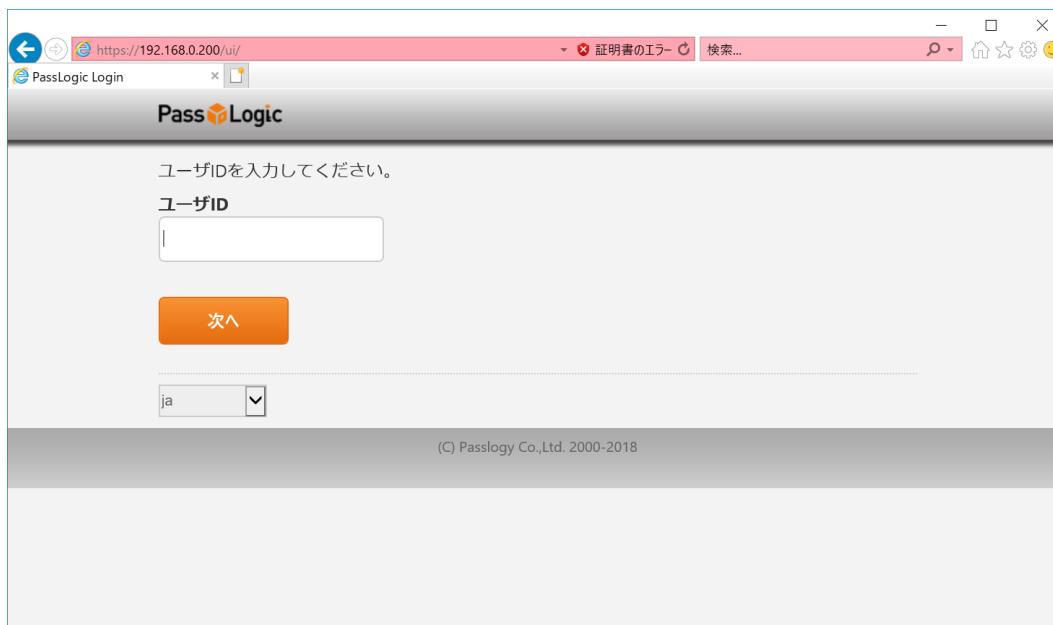


2) 信頼済みサイトに PassLogic の URL を追加してください。

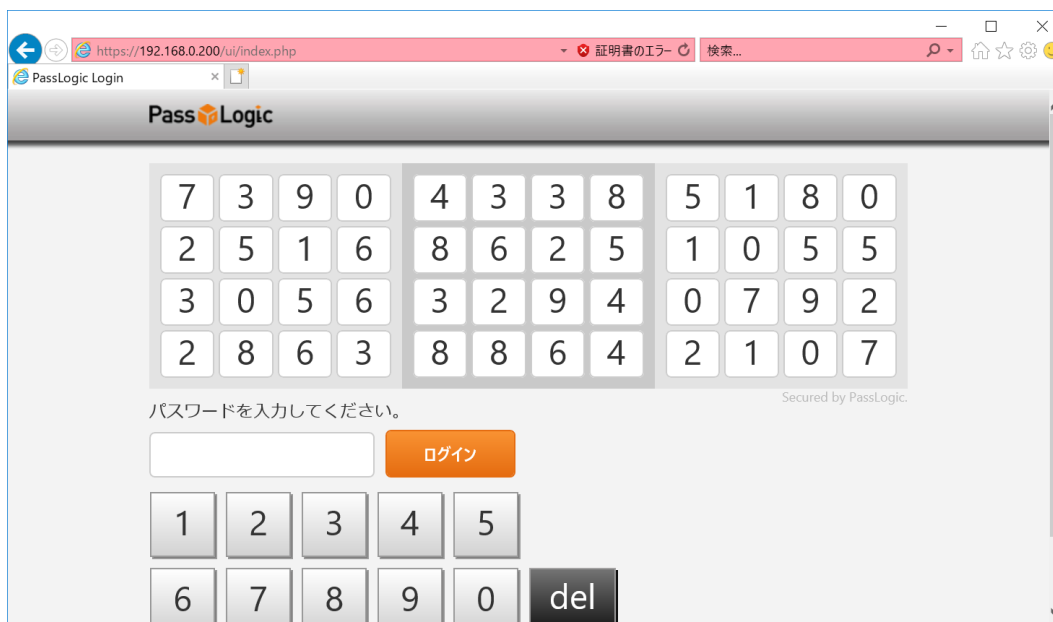


2.3 Internet Explorer11 のログイン操作例

1) これまで通りの URL にアクセスしユーザ ID を入力して「次へ」をクリックしてください。



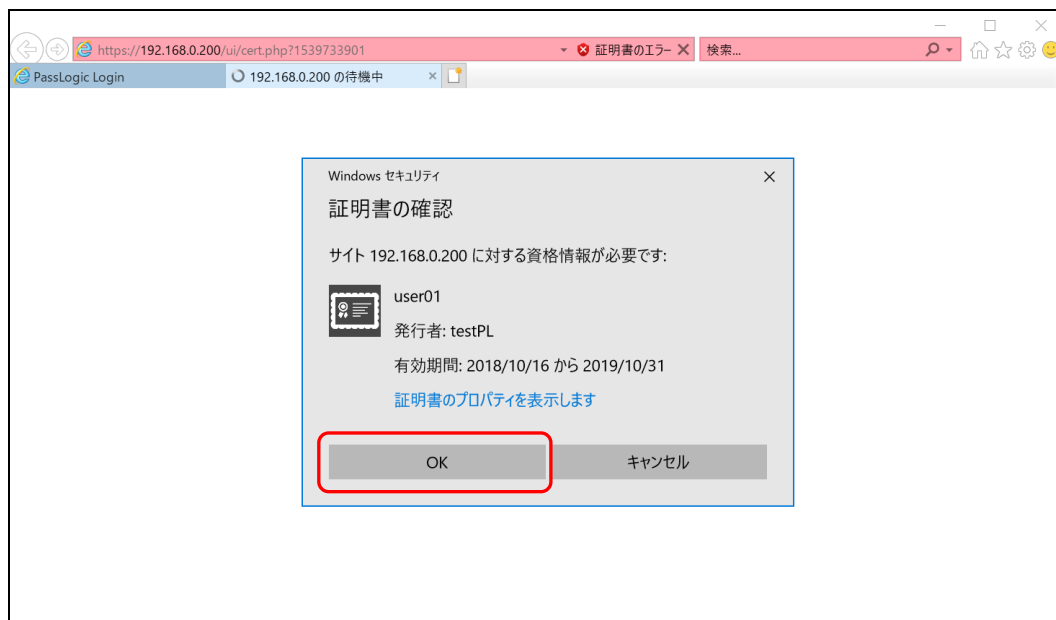
2) 認証画面へ遷移しましたら、通常通りのログイン操作を続けてください。



3) 一瞬だけ以下のページが表示されますが、設定が完了していれば自動的に次の画面へ遷移しますので画面が変わるまで少しお待ちください。



4) 新たなタブで空白ページが開くと同時に証明書提出ウィンドウが表示されます。PassLogic の認証で利用する証明書を提出してください。



5) 証明書が提出されると、新規タブで開いた空白ページが消え、先ほどのページに戻りますが、この画面は自動的に次の画面へ遷移しますので、画面が変わるまで少しお待ちください。

※空白ページを消して良いか確認するウィンドウが表示された場合は「はい」をご選択ください。



6) 証明書認証が完了するとログインが完了します。

クライアント証明書の提出画面で自動的に処理が終わらない場合

クライアント証明書提出画面（以下の画面キャプチャを参照）で、自動的に処理が終わらない場合は、今一度「Internet Explorer11 の設定例」の設定をご確認の上、PassLogic サイト上での「ポップアップの許可」をお願いします。また、証明書がブラウザの背面に表示される場合があります。その場合は、本書の「証明書の提出ウィンドウがブラウザの背面にポップアップする場合」をご参照の上で設定をお願いします。



1) Step1、Step2 を手動で進める場合の注意事項を記載いたします。

＜Step1＞の注意事項

【クライアント証明書を提出する】のリンクをクリックすると、新規タブで空白ページが表示され、クライアント証明書の提出ウィンドウが表示されます。

- ※ クライアント証明書の提出ウィンドウが表示されない場合は、ブラウザの背面で起動している場合があるのでご確認ください。
- ※ クライアント証明書の提出が終わるまで、一番下の「次へ」ボタンは押さないでください。

＜Step2＞の注意事項

Step1 の操作が完了したら、画面一番下にある「次へ」ボタンをクリックしてください。

- ※ クライアント証明書の提出が終わるまで、一番下の「次へ」ボタンは押さないでください。

2.4 免責

- 本パッチは、2018 年 10 月 18 時点における各種ブラウザの仕様に対応したものです。
- 推奨外のブラウザでの閲覧は、正しく動作しない可能性があります。
また推奨ブラウザであっても、各ブラウザ提供会社の仕様変更により、将来的に正常に動作しなくなる恐れがあります。